

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公印省略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察特殊報第3号

病虫害名 ヨコバイ科の一種 *Eupteryx decemnotata* Rey
(英名: Ligurian leafhopper)
作物名 ローズマリー
発生地域 京都市及び亀岡市の一部

1 発生経過

- (1) 令和元年7月、京都市内の民家に植栽されたローズマリーの葉を加害するヒメヨコバイ類を確認したとの情報提供があり、9月及び10月に京都市7地点及び亀岡市4地点のローズマリー植栽地で発生調査を行ったところ、京都市2地点、亀岡市1地点でヒメヨコバイ類成虫及び幼虫を採取した。
- (2) 採取した成虫を農林水産省神戸植物防疫所に同定依頼したところ、ヨコバイ科の一種(和名なし、ヨコバイ科ヒメヨコバイ亜科、*Eupteryx decemnotata* Rey)と同定された。
- (3) 本種の発生は、千葉県¹⁾、神奈川県²⁾、大分県³⁾、大阪府⁴⁾において、ローズマリーで確認されているが、京都府での確認は初めてである。

2 形態及び生態

- (1) 成虫は体長2.2～3.0mmで細長く、体色は黄緑色で前翅に褐色で縁取られた斑紋が多数あり(写真1)、頭部に10個の黒色斑紋がある(写真2)。
- (2) 国内での生態は不明である。本種は南ヨーロッパ原産で、ヨーロッパ各国⁵⁾の他、アメリカ合衆国⁶⁾、チュニジア⁷⁾でも発生が確認されている。寄主植物はシソ科で、ローズマリー以外に海外ではレモンバーム、ペパーミント、イヌハッカ、バジル、オレガノ、マジョラム、セージ、タイム等への寄生が確認されている。

3 被害の特徴

ローズマリーでは、本虫の吸汁により葉表にかすり状の黄白小斑点が生じ(写真3)、被害が大きいと葉全体が黄化し(写真4)、甚だしい場合は落葉に至る。

4 防除対策

- (1) 2019年10月9日現在、ローズマリーで本虫に対する登録農薬はないので、防虫ネット被覆等で本虫の侵入を防ぐ。
- (2) 周囲のシソ科植物への被害を考慮し、被害が大きい株では抜き取り処分を行う。



写真1 成虫(体長2.2~3mm)



写真2 成虫の頭部



写真3 ローズマリー葉の被害(小斑点)



写真4 ローズマリー葉の被害(黄化)

<参考文献>

- 1) 千葉県農林総合研究センター(2016)、平成28年度病害虫発生予察特殊報第2号
- 2) 神奈川県農業技術センター(2017)、平成28年度病害虫発生予察特殊報第5号
- 3) 大分県農林水産研究指導センター農業研究部(2018)、平成30年度病害虫発生予察特殊報第2号
- 4) 河地邦弘(2018)、Nature Study 64(7):7
- 5) Magdalena, L and Krazysztof, M(2015) Journal of Plant Protection Research 55 (3):324-326
- 6) Rung A. et al. (2009) Insecta Mundi 0088:1-4
- 7) I. Chaieb and S. Bouhachem-Boukhris(2013) Article in Acta horticulturae 997:215-218